



<http://www.daitoken.com/tokyo/>

第 238 号 2017 (平成 29) 年 10 月発行

目次

1. 2017/2018 年度第 1 回地域グループ例会のお知らせ----- 1
2. 東京地域グループニュースレター電子化切替照会 ----- 1
3. 2017/2018 年度地域グループ総会講演会記録：
東京地域グループ総会講演会「オープンサイエンスと機関リポジトリ」参加報告
武井 駿介（東京大学農学生命科学図書館）----- 2
4. 2017/2018 年度東京地域グループ総会記録 ----- 3
5. 会報「大学の図書館」の特集テーマ・編集スタッフ募集！----- 3
6. 2016/2017 年度第 8 回-10 回（4 月-6 月）東京地域グループ運営委員会記録 ----- 4

2017/2018 年度第 1 回地域グループ例会のお知らせ

見学会：国立極地研究所、国文学研究資料館見学会（2017/2018 年度第 1 回東京地域グループ例会）

日程：2017 年 11 月 25 日（土）13:30-17:00（予定） ※ 終了後、懇親会を予定しています。

場所：国立極地研究所、国文学研究資料館（最寄駅：多摩モノレール高松駅から徒歩 10 分）

<http://www.nijl.ac.jp/pages/access.html>

集合：13:10 に多摩モノレール立川北駅改札（JR 立川駅方面）前、ファミリーマート付近にて担当がお待ちします。集合後、多摩モノレールおよび徒歩で会場まで移動します。

参加方法：どなたでもご参加頂けます。

※見学会の参加費は無料。参加ご希望の方は、懇親会の参加可否も添えてお申し込みください。

内容（予定）：国立極地研究所情報図書室、南極・北極科学館、国文学研究資料館閲覧室・展示室見学

申込先：以下の申込フォーム（Google フォーム）からお申し込みください。

<https://goo.gl/RZE1mc>【申込〆切：11 月 17 日（金）】

電子化ニュースレター切替照会

このたび運営効率化のため、本紙の電子化切替を希望する方を募集することとなりました。

- 電子化切替をご希望の方【要申込】：紙版の送付を停止します。ニュースレターを発行する都度、東京地域グループ ML でご連絡しますので、電子版をご覧ください。電子版は東京地域グループウェブサイトで公開します。 ※なお、ご希望の場合は紙版送付の再開ができますので、その旨ご連絡ください。
- 変更無しの方【申込不要】：従来通り、紙版のニュースレターをお届けします。

【電子化切替の申込方法】

- 1) 氏名を明記の上、東京地域グループ運営委員会 (tokyo@daitoken.com) にメールにてお申し込みください。件名は「ニュースレター電子化切替」としてください。
- 2) 東京地域グループ ML に未登録の方はウェブサイト <http://daitoken.com/tokyo/join.html#ml> よりメールアドレスを登録してください。

東京地域グループ総会講演会「オープンサイエンスと機関リポジトリ」参加報告

武井駿介（東京大学農学生命科学図書館）

8月5日、国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センターの尾城孝一氏による講演「オープンサイエンスと機関リポジトリ」に参加しました。

講演では、オープンサイエンスを巡る国内の動向、機関リポジトリの現状、学術情報流通の最近の動向や、それらに対するコミュニティの取り組みについて触れられました。

国内での機関リポジトリの公開機関数は現在700を越えており、その数で見れば日本は世界の機関リポジトリ大国であるといえるものの、公的研究資金を用いた研究成果（論文、研究データ）を公開すべきとするオープンサイエンスのあり方に対し、それらがどれだけ貢献できているのかという現状ではあまり芳しくないという認識がまず共有されました。

その一方で研究者向け SNS（＝個人リポジトリ）、プレプリントサーバ（＝分野別リポジトリ）、データリポジトリ（＝無料/分野別）等が商業出版社主導で勃興しつつあり、これらに機関リポジトリが埋もれてしまっているとし、その現状を打開すべく、研究者のワークフローの中に機関リポジトリを適切に位置づけていくこと等、その理念の再構築をも含めた「次世代リポジトリ」の実践がコミュニティにおいて取り組まれているとのことでした。

とりわけ興味深く感じられたのは、オープンサイエンス時代に求められる研究データ管理の支援という機能を担うプレーヤーとして、図書館職員（所謂データライブラリアン）だけではなく、URAも含めた研究支援に携わる職員やIT部門の職員といった具合にその範囲が拡大していくであろう可能性について言及がなされたことでした。そこでは職種間の協力・協働（あるいは競争）関係が見出され得るだろうということでした。

これまで「”図書館”リポジトリではなく”機関”リポジトリであることの意味をきちんと捉える必要がある」との指摘をしばしば目にする機会がありましたが、では一体何をどうすればそれを「きちんと捉え」たことになるのか、同時に、にもかかわらずなぜ”機関”リポジトリに携わっているのが図書館職員だけである（かのように見える）のかという点が個人的に今一つよくわかっていなかったのですが、本講演を通じ、その見通しがかなりクリアになったように思われます。

なるほど、11月から国立情報学研究所が提供する無料オンライン講座「オープンサイエンス時代の研究データ管理」の受講対象者も、「図書館、IT部門、研究支援部門の職員（URA）等」及び、「オープンサイエンスや研究データ管理に関心のある教職員」とされています。先だってオープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）研究データタスクフォースが公開した教材「RDMトレーニングツール」と併せ、広く活用されてしかるべきと思われる。

機関リポジトリを介して、研究支援というキーワードで様々なプレーヤーが職種を超えて繋がり得るのだということ、そして現在の学術情報流通システムの変容を促し得るという視座から見た日本の（次世代）機関リポジトリのポテンシャルについて認識を新たにすることができ、大変有意義な機会となりました。

（たけい しゅんすけ / 東京大学農学生命科学図書館 / 2017年9月4日提出）

2017/2018 年度東京地域グループ総会記録

1. 開催日時 2017年8月5日(土) 14:00-15:00
2. 開催場所 文京シビックセンター5階会議室A
3. 出席者(敬称略/五十音順) 青山, 石津, 上村, 亀田, 坂口, 佐藤, 武井, 立原, 呑海, 南雲, 松原, 山口
4. 配布資料
資料1: 大学図書館問題研究会東京地域グループ2017/2018年度総会議案(事前配布)
資料2: 2016/2017年度決算案・2017/2018年度予算案
資料3: 2016/2017年度 会計監査報告書

5. 議事進行 石津, 記録 立原

6. 議事

A. 審議事項

1) 第1号議案 活動総括, 決算報告・会計監査報告

担当委員より, 資料1に基づき2016/2017年度(2016年7月~2017年6月)の活動総括について報告があり, 承認された。担当委員より, 資料2に基づき2016/2017年度決算について報告があり, 承認された。会計監査より, 資料3に基づき2016/2017年度会計監査について報告があり, 承認された。

2) 第2号議案 活動方針, 予算案, 地域グループ運営委員会

松原 2016/2017年度東京地域グループ代表より, 資料1に基づき2017/2018年度(2017年7月~2018年6月)の活動方針について説明があり, 承認された。松原 2016/2017年度東京地域グループ代表より, 資料2に基づき2017/2018年度予算案について説明があり, 承認された。

2017/2018年度の地域グループ運営委員, 地域グループ代表について, 以下の通り承認された。

青山 史絵(あおやま ふみえ, 東洋英和女学院大学)

井上 知永理(いのうえ ちえり, 東京大学)

立原 ゆり(たちハラ ゆり, 東京大学)

野崎 恵(のざき めぐみ, 東京海洋大学)

松原 恵(まつばら めぐみ, 国文学研究資料館)※
地域グループ代表

山口 友里子(やまぐち ゆりこ, 一橋大学)

また, オブザーバーの推薦について, 以下の通り承認された。

石津 朋之(いしづ ともゆき, 筑波大学)

上村 順一(うえむら じゅんいち, 国立情報学研究所)

江沢 美保(えざわ みほ, 一橋大学)

武井 駿介(たけい しゅんすけ, 東京大学)

西脇 亜由子(にしわき あゆこ, 明治大学)

なお, 今後のオブザーバーの選出, 増員については運営委員会に一任することとなった。

B. 報告事項

特になし

以上

会報「大学の図書館」の特集テーマ・編集スタッフ募集!

東京地域グループは, 会報「大学の図書館」2018年発行分のうち, 1号分の編集を担当することになりました(参考: 2017年は7月号の編集を担当しました)。何月号の担当になるかは未定ですが, 担当号の特集のテーマ, 編集スタッフを東京地域グループの皆様から広く募集します。こんな特集だったら読んでみたいと思うテーマのご提案や, 原稿募集や誌面作成などの編集作業に携わってみたい方は, 下記宛先までお気軽にお問合せください!

お問合せ先: 東京地域グループ運営委員会 tokyo@daitoken.com

2016/2017 年度第 8 回-10 回（4 月-6 月）東京地域グループ運営委員会記録

紙面の都合上、議事のみ掲載いたします。議事内容の詳細は東京地域グループウェブサイトをご覧ください。

⇒ <http://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>

2016/2017 年度 第 8 回 大学図書館問題研究会東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2017 年 4 月 20 日(木) 19:00-21:00
2. 場所: ルノアール ニュー新宿 3 丁目店
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵, 井上知永理, 立原ゆり, 松原恵, 山口友里子
4. 配布資料: なし
5. 議事

A. 審議事項

1. 第 2 回地域グループ例会について
2. 第 3 回地域グループ例会について
3. 会報「大学の図書館」7 月号の編集について
4. 関東地域グループ合同例会・テープ起こしについて
5. 総会について
6. ニュースレター237 号

B. 報告事項

1. 各担当報告

3. 総会について（日程・場所・議案・講演会）

4. 会計監査について（日程・場所）

5. ニュースレター237 号について

B. 報告事項

1. 各担当報告

2016/2017 年度 第 10 回 大学図書館問題研究会東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2017 年 6 月 21 日(水) 19:00-21:00
2. 場所: ルノアール ニュー新宿 3 丁目店
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵, 井上知永理, 上村順一, 立原ゆり, 松原恵, 山口友里子
4. 配布資料: 大学図書館問題研究会東京地域グループ 2017/2018 年度総会議案書（案）, 同決算（案）
5. 議事:

A. 審議事項

1. 総会について(議案書, 講演会, 広報, 分担)
2. 2016/2017 年度決算と 2017/2018 年度予算について
3. 会報「大学の図書館」7 月号の編集について
4. ニュースレター237 号について
5. その他: オンライン会議の試行について

B. 報告事項

1. 各担当報告

2016/2017 年度 第 9 回 大学図書館問題研究会東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2017 年 5 月 25 日(木) 19:00-21:00
2. 場所: ルノアール ニュー新宿 3 丁目店
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵, 井上知永理, 上村順一, 立原ゆり, 松原恵
4. 配布資料: なし
5. 議事:

A. 審議事項

1. 第 2 回例会振り返り
2. 会報「大学の図書館」7 月号の編集について（分担・進捗確認）

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』

第 238 号, 2017 年 10 月

事務局: 〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-14-27-202 上村順一 気付

東京地域グループメールアドレス: tokyo@daitoken.com

東京地域グループ運営委員会編集担当: 井上知永理, 立原ゆり, 野寄恵